

令和 8 年第 3 回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

令和 8 年 10月13日
10月14日（ 3 日間 ）
10月15日

南 風 原 町 議 会

目 次（一般質問日程表）

	議席番号	氏名	頁	質問日
1	13番議員	照屋 仁士	1	10月13日（火）
2	14番議員	赤嶺 奈津江	2	
3	9 番議員	大城 雅史	3	
4	3 番議員	花城 順	4	
5	15番議員	知念 富信	6	
6	2 番議員	山内 理恵	7	10月14日（水）
7	7 番議員	大城 勇太	9	
8	4 番議員	仲村 静加	10	
9	1 番議員	赤嶺 龍謨	11	
10	12番議員	大城 重太	13	
11	5 番議員	島袋 和美	14	10月15日（木）
12	6 番議員	當眞 嗣春	15	
13	8 番議員	石垣 大志	17	
14	11番議員	玉城 陽平	19	
15	10番議員	西銘 多紀子	22	

令和 8 年10月 7 日作成

□ 照屋仁士 議員

1. 発展する！南風原を目指したい。町長の考える現状認識とこれから目指すまちづくりについて問う 【 町長 】

(1) まずは人口をのばす事が大事だと考える。私の考える人口政策はアパートやマンションの乱立ではなく、2世帯や多世帯、世代間近居を進めることで、家族間の絆や地域コミュニティの再生にもつながると考えるがどうか。

(2) 土地利用の見直しを進めるべきと考える。まずは農地を守り、活かす。遊休地を減らし、居住できる、商売できる土地を確保し、南風原全体に賑わいをつくるべきと考えるがどうか。

2. 安心できる！！南風原を目指したい。町長の考える現状認識とこれから目指すまちづくりについて問う 【 町長 】

(1) 子ども達を守ることが必要だと考える。南風原に生まれた、住んだどんな子ども達も、夢や希望がもてる環境を全力でつくっていききたいと考えるがどうか。

(2) 高齢者やどんな人も支えていく事が必要だと考える。安心して生活できる住環境（公共交通、相談窓口、支援制度）を国や県の制度はもちろん、民間活力も含めて、あらゆる方法で取組んでほしいがどうか。

3. 将来の「南風原市」を目指したい。町長の考える現状認識とこれから目指すまちづくりについて問う 【 町長 】

(1) 市昇格への条件は「人口5万人」である。南風原町において、それ以外の条件はほぼ満たされているとこれまでも答弁されている。これまでは「その時が来たら～」という曖昧なニュアンスと私は受け止めている。でもこれから予測される少子高齢化、人口減少社会へは今から向き合い、対策を講じなければ南風原町は「衰退するまち」になってしまう危機感がある。町長はどう考えるか。

(2) 南城市や豊見城市と比較しても、南風原町は人口5万人を達成する可能性は充分にあると考える。町長はどう考えるか。

(3) 市昇格のメリットは権限移譲とブランド効果だと考える。住民サービスは向上し、転入が増え、企業価値も大きく向上すると私は考える。まさに「発展する！安心できる！！」まちへなると考えるが、町長はどう考えるか。

□ 赤嶺奈津江 議員

1. 児童生徒への資格試験・検定等への受験料補助について問う 【 町長・教育長 】

(1) 町内の児童生徒が英語検定や漢字検定、数学検定など各種資格・検定試験について本町としてどのようにとらえているか。

(2) 現在の受験状況や学校での支援状況を把握しているか。

(3) 児童生徒の学習意欲の向上や目標を持って学ぶ機会を後押しするため、資格・検定試験の受験料を補助する制度を創設できないか。

2. mobiなど町公共交通について問う 【 町長 】

(1) 現在取り組んでいる町内公共交通mobiについて、利用状況や利用者からの声、これまでの成果と課題をどのようにとらえているか。

(2) 高齢者や運転免許を持たない方、子育て世帯など、移動の手段の確保を必要とする町民への支援として、今後さらに町内公共交通を充実させる考えはあるか。

(3) 町内公共交通を継続的かつ持続可能なものとするため、広告やスポンサー制度など民間資金の活用を含め、新たな財源確保の手法について調査研究してはどうか。

3. 町有資産などを活用した自主財源の確保について 【 町長・教育長 】

(1) 本町が現在行っている広告事業やスポンサー制度にはどのようなものがあり、その収入実績をどのようにとらえているか。

(2) 役場庁舎内のモニター、公共施設、スポーツ施設、町有地や工作物など、広告媒体として活用可能な町有資産を洗い出し、新たな自主財源の確保につなげる考えはないか。

(3) 広告掲載料やスポンサー料の設定、募集方法、審査基準、景観や公共性への配慮などを整理した上で、町有資産を活用した広告・スポンサー制度の導入について調査研究し、広告媒体・掲載場所・料金を一覧化したパッケージを作れないか。

□ 大城雅史 議員

1. 本町小規模多機能ホーム事業所の連携について問う 【 町長 】

(1) 本町小規模多機能ホームについて事業者数を伺う。

(2) 本町の介護事業者数は、町民のニーズを満たしているか。

(3) 各事業所において、人材確保が課題となっている。新規採用者に補助金の活用を行ってはどうか。

(4) 「事業所同士の連携を深めたい、意見交換を行いたい」との声もある。業務の効率化やサービスの質の向上等を目的に連絡協議会等を開催できないか。

2. 津嘉山土地区画事業の整備状況について問う 【 町長 】

(1) 津嘉山大橋から本部公園線の工事の進捗状況を伺う。

(2) 南風原高校から第2団地につながる道路において、舗装されていない場所がある。早急の整備を求めるが、どうか。

3. 町内を花いっぱい美しい町にしてほしいが現況の取組みについて問う 【 町長・教育長 】

(1) 本町の花いっぱい運動についての見解を問う。

(2) 多くの花を植えることによって地域の活性化にも繋がると思うが各自治会や企業との連携について伺う。

(3) 本町主催のイベント等開催の場合に花いっばいに飾りつけしてほしいが福祉事業所と南風原町商工会と連携する事は可能か。

(4) 名古屋グランパス歓迎セレモニーにおいて、選手、子どもたち及び福祉事業者と一緒に花を植える運動を行えないか。

□ 花城順 議員

1. 小中学校の環境整備について

【 教育長 】

(1) 現在、町内の小中学校では、保護者、教職員、地域の皆様が、PTA作業などを通じて定期的な草刈りや軽微な環境整備に取り組んでいます。子どもたちの学ぶ環境を支える皆様に、感謝申し上げます。一方で、学校の環境整備には、専門的な技術が必要な作業や、多くの機材・資材・費用を要するものもあります。安全で快適な教育環境を維持する為、伺う。

各学校の環境整備にかかる学校予算の支出について、教育委員会はどのように把握していますか。また、PTAが環境整備のために支出している費用について、実態・詳細を把握しているか。

(2) 専門業者による作業が必要な場合や、機材・資材・材料を多く要する場合、学校やPTAが利用できる町の予算、補助金、支援にはどのようなものがあるか。ある場合、情報の提供を行っているか。

(3) 各学校PTAから寄せられる施設修繕や環境整備の要望について、教育委員会は一覧として把握し、優先順位を定めているか。また、対応済み・未対応の状況をどのように管理し、学校へ協議しているか。

(4) 専門性が高い作業、高木・斜面の剪定・伐採の計画的管理をしているとあるが、協議・対策・持続の検討後、明確な計画の提示を。

(花城順議員 一般質問)

2. 学校施設の修繕と安全確保について

【 教育長 】

(1) 町立小中学校の校舎、体育館、グラウンド、トイレ、校内周辺等について、学校から出された修繕要望の件数、未対応件数、緊急性の判断基準を伺う。児童生徒の安全や授業への影響がある不具合を、どのような優先順位と時期で修繕するか。

(2) 体育館の雨漏り、体育館の窓・網戸の不具合、グラウンドの土不足、プールの防犯対策、設備の劣化（落下転倒リスク）等を把握しているか。

(3) 学校施設等長寿命化計画と、修繕要望をどう結び付け、学校や保護者・地域へ対応状況をどのように伝えていくか。

3. 自転車の交通ルール変更と歩行者の安全について

【 町長 】

(1) 令和8年4月の自転車への青切符制度導入後、町内の通学路や歩道・車道で、歩行者と自転車が安全に通行できる環境をどう把握しているか。学校、地域、警察と連携して危険箇所を点検し、路面表示や注意喚起、必要な道路整備を進める考えはあるか。

4. 男性の育児参加を支える環境について

【 町長 】

(1) 町役場の男性職員の育児休業について直近3年間に子どもが生まれた男性職員の人数、育児休業を取得した人数・取得率・取得期間を伺う。取得を希望する職員への案内、業務の引継ぎ、代替職員の確保にはどう取り組んでいるか。今後の目標と改善策を伺う。

□ 知念富信 議員

1. 未舗装の現状を問う

【 町長 】

(1) 南風原高校グラウンド横の道路は第2団地への外周道路になっているが、約40メートル未舗装部分の原因を問う。

(2) 津嘉山土地区画整理事業の計画に入っているのか伺う。

(3) 今後の計画事業化はあるか伺う。

(4) 通行に支障があるので早期の舗装整備が必要です。対処できないか伺う。

2. 町道113号線の未解決土地を問う

【 町長 】

(1) これまでに何回も質問してきましたが解決しておりません。前回の質問から変化があったか伺います。

(2) 住民は袋小路のため災害時に車が通れなくなる事を心配して早めの開通を望んでいるが解決方法はないか伺う。

3. 町道143号線の着手時期を問う

【 町長 】

(1) 町道143号線は工事着手の説明があったが着手に至っていない状況にある。経緯を伺う。

(2) JA側の斜面工法とガードレール設置、歩道設置を伺う。

1. 高齢者施策を「実施」から「暮らしの成果」で評価する仕組みについて【 町長 】

（１）高齢者が、介護が必要となる前から健康や社会とのつながりを保ち、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる町にするためには、事業の実施回数や参加人数だけでなく、住民の生活にどのような変化が生まれたかを把握し、施策の改善につなげることが必要だと考える。第五次南風原町総合計画の「高齢者を支える体制の強化とサービスの充実」では、KPI「要介護認定率（要介護1～5）」がR2の12.6%、R5の13.2%、R8目標12%とされる一方、評価検証一覧表では「集計用達成度110%」「①順調に進行」と評価されている。町は、このKPIの推移と評価結果をどのように捉えているか伺う。

（２）要介護認定率は、低下を目標として令和8年度の目標値を12%としている。一方、令和5年度の実績は13.2%となっているが、第五次南風原町総合計画の評価検証では「集計用達成度110%」「順調に進行」と評価されている。

目標値と実績値だけを見ると、町民には評価の意味が分かりにくいと考える。「110%」という達成度はどのように算定されたものか。また、令和5年度実績13.2%を「順調に進行」と評価した根拠を伺う。

（３）第10次南風原町高齢者保健福祉計画では、一般介護予防事業について、早い段階からの予防、KDBシステム等を活用した効果検証、介護予防事業の検証、さらに「心身機能」「生きがい活動」「社会参加」へのバランスのよいアプローチを掲げている。現在、介護予防・日常生活支援総合事業等について、参加人数や実施回数に加え、生活機能、外出・社会参加、事業終了後の継続状況、要支援・要介護状態への移行等の成果を、どのような指標・方法で把握し検証しているか伺う。

2. 高齢者が地域とつながり続けられる仕組みについて【 町長 】

（１）高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、介護や医療が必要になってから支援につなぐだけでなく、元気な段階から地域とのつながりを保ち、孤立や閉じこもりを予防することが重要だと考える。第3次南風原町地域福祉推進計画では、認知症高齢者を地域で支える「つながり」の構築や多様な居場所づくりを掲げる一方、既存のサロン等に参加しにくい高齢者への対応も課題としている。現在、一人暮らしや閉じこもり傾向、地域活動への参加が少ないなど、既存の相談・介護予防事業・地域活動につながっていない高齢者を、どのように把握し、どのような働きかけや支援へのつながりを行っているか伺う。

（２）高齢者の孤立や閉じこもりを予防し、困りごとが深刻になる前から支援につなぐため、自治会、民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、医療・介護専門職等の既存ネットワークを活用し、①地域とのつながりが希薄な高齢者へのアウトリーチ、②誰が気づき、誰につなぎ、必要に応じて専門職が関わる早期支援の流れ、③既存の公共施設や地域資源を活用した身近な相談・交流の入口を、次期高齢者保健福祉計画等の中で具体的な取組として位置付け、実施していく考えはあるか伺う。

(山内理恵議員 一般質問)

3. 複雑化・複合化する住民課題への包括的相談支援体制と福祉DXの推進について

【 町長 】

(1) 介護、障がい、生活困窮、子育て、健康、ひきこもりなど、住民が抱える困りごとは複数分野にまたがり、既存制度の対象に明確に当てはまらない「制度の狭間」が生じる場合がある。また、自ら適切な相談先を探し、困りごとを整理して支援を求めること自体が難しい住民もいる。第3次南風原町地域福祉推進計画では、多機関の連携・協働による包括的相談支援体制の構築や「複雑化・複合化」した課題への包括的支援を位置付けている。そこで、最初に相談を受けた側が相談を受け止め、必要な部署・関係機関へつなぎ、複合課題では調整役を明確にし、実際に支援につながるまで伴走・確認する体制をどのように構築・運用しているか伺う。

(2) 南風原町DX推進計画の方向性も踏まえ、個人情報保護と適切なアクセス管理を前提に、相談・支援情報を必要な範囲で共有・集約し、二重聞き取り等の負担軽減、支援の継続性向上、相談ニーズや制度の狭間の可視化・検証、次期計画や事業改善への反映につなげる仕組みを構築する考えはあるか伺う。

4. 第六次総合計画を見据えた、住民・こどもと「つくり、見守り、評価する」計画行政について

【 町長 】

(1) 南風原町では、各種計画や評価・進捗状況、パブリックコメントの結果等をホームページで公表しており、第六次総合計画（素案）でも、町民参画・協働による計画の推進、PDCAによる評価・検証・改善、町民と行政との情報共有・広聴機会の充実に掲げている。

一方、住民から見たときに、これらが個別の計画書や評価資料として公表されるだけでなく、「①どのような意見があったか、②町がどう検討・反映したか、③現在どこまで進んでいるか、④どのような成果・課題があるか、⑤次に何を改善するか」までを、一連の流れとして分かりやすく確認できることが重要だと考える。

そこで、第六次総合計画の実施に合わせ、まずは重点施策等から、町が既に保有・公表している住民意見、計画、目標値・指標、事業の進捗、評価結果等をつなぎ、「1意見、2反映、3実施、4評価、5改善」が一目で分かる形で可視化し、ホームページや公式LINE等から容易に確認できる仕組みを構築する考えはあるか伺う。

(2) 計画の実行段階でも町民参画・協働を進めるという第六次総合計画（素案）の方向性を踏まえ、こどもについても意見を聞くだけで終わらず、自分たちの意見がどう反映されたかを確認し、施策の評価や次の改善について行政と継続的に話し合える仕組みを具体化し、実施する考えはあるか伺う。

□ 大城勇太 議員

1. 物価高騰から町民の暮らしを守る持続的な生活支援について問う 【 町長 】

(1) 物価高騰が長期化する中、町民生活への影響を町はどのように把握しているか。

(2) 9月ではえるん商品券も終了しますが、商品券利用者からはどのような声が寄せられているか。

(3) 支援が終わってから次の支援を考えるのではなく、物価高騰が続いた場合に備えて、今から次の支援策を検討するべきではないか。

(4) 物価高騰が続く場合、令和9年度以降も町独自のはえるん商品券や生活支援を継続する考えはあるか。

2. 物価高から子育て世帯を守り、南風原町の子どもたちへの教育投資を【 町長 】

(1) 物価高騰による子育て世帯への教育助成として、小学生の体育着、中高生の制服補助を町独自に助成できないか。

(2) 家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもが十分な学習機会を得られるよう、塾、習い事等へ『学び応援券』の助成制度の創設ができないか。

(3) 多子世帯ほど、教育費の負担が増加している。『南風原町 多子世帯教育応援制度』の創設ができないか。

3. 高齢者等の健康と生活を守る予防接種の充実について 【 町長 】

(1) 65歳以上自己負担1000円について町民からどのような声があるか。

(2) 物価高騰が続く中、自己負担額を無料にする考えはないか。

(3) 子どものインフルエンザワクチン予防接種について、接種費用助成を実施する考えはないか。

(4) 带状疱疹ワクチンの自己負担額の助成拡充の検討はないか。

(5) 生ワクチンと組換えワクチンで自己負担に大きな差があるが、町民にどのような情報提供をしているか。

(6) 50歳から任意接種できるにもかかわらず、定期接種による公費助成は65歳からである。この15年の空白について、町独自の助成制度を設ける考えはないか。

□ 仲村静加 議員

1. 産後ケア事業の充実について

【 町長 】

（１）産後ケア事業の直近３年間の利用者数、延べ利用回数及び宿泊型・通所型・訪問型別の利用実績はどうなっているか伺う。

（２）利用回数の不足や追加利用要望など、利用者のニーズをどのように把握しているか伺う。

（３）本町では、産後の強い疲労や精神的な不調などを早期に把握し、産後ケアや必要な医療・保健サービスにつなぐため、どのような取組を行っているか伺う。

（４）産後ケアを必要とする方が早期に利用できるよう、申請手続きの簡素化や予約方法の改善について本町の見解伺う。

（５）産後ケア利用後も継続的な支援が必要な母親に対し、委託施設・助産師・医療機関・町の保健師はどのように連携し、フォローを行っているか伺う。

（６）産後１年間の切れ目のない支援に向けて現行の最大５回を７回への拡充することについて、本町の見解を伺う。

2. 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について

【 町長 】

（１）本町における直近３年間の高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者数、接種者数及び接種率はどうなっているか伺う。

（２）高齢者や基礎疾患を有する方への肺炎球菌感染症の重症化予防について、接種勧奨や医療機関等との連携をどのように行っているか伺う。

（３）接種対象期間を過ぎた未接種者への対応及び県内他市町村における独自助成の状況について伺う。

（４）高齢者の重症化予防と健康維持の観点から、接種機会の確保や費用負担の軽減について、本町の見解を伺う。

3. AED使用時のプライバシー保護と救命環境の整備について

【 町長 】

（１）本町が管理するAEDには、三角巾等のプライバシー保護用品が配備されているか伺う。

（２）AED使用時に、傷病者のプライバシーに配慮しながら迅速な救命処置を行うための周知や講習は実施されているか伺う。

（３）誰もがためらわず救命処置を行える環境を整えるため、AEDへの三角巾等の配備を推進する考えはないか。

□ 赤嶺龍膳 議員

1. 町民体育館整備と町民参加について

【 町長 】

（１）令和８年度の整備計画の見直しでは、施設規模、建設費、維持管理費、財源及び利用見込みの何を、いつまでに検証するか。

（２）見直し後の町の実質負担額と、将来の維持管理・更新費を含む総費用を示し、規模縮小や既存施設の活用などの代替案と比較する考えはあるか。

（３）見直し後の判断材料を町民に示した上で、若者や子育て世代を含む幅広い町民の意見を聞き、整備方針に反映する考えはあるか。

2. 町立小中学校体育館の空調整備について

【 町長・教育長 】

（１）前回の「近隣市町村を調査研究し検討する」旨の答弁以降、調査した自治体・施設と、設置費、断熱・電源工事費、年間維持費及び財源について判明したことを伺う。

（２）学校体育館の空調設置、避難所指定、断熱・電源設備、夏季の室温及び熱中症対策の状況を把握しているか。

（３）各校への国の交付金の適用可能性を確認し、対象工事費、対象外経費を含む総事業費、交付金見込額、地方債・交付税措置を踏まえた町の実質負担額と年間維持費を学校別に試算する考えはあるか。

（４）整備を進める上で不足する費用や条件は何か。また、整備までの間、猛暑時に体育館を避難所として使用する場合は暑さ対策を伺う。

（５）調査・試算の完了時期、整備方針の判断時期及び整備する場合の学校別の優先順位と工程を伺う。

(赤嶺龍騰議員 一般質問)

3. 町内公園の安全管理と管理体制について

【 町長 】

(1) 本部公園における児童の落下に関する相談や事故情報を町は把握しているか。把握している場合、現場確認と対策の内容を伺う。

(2) 町が管理する公園の遊具、転落防止柵、階段等について、点検の頻度、判定基準及び修繕の優先順位を伺う。

(3) 本部公園を含む町内公園の危険箇所を改めて点検し、必要な対策と実施時期を公表する考えはあるか。写真や場所を添えて町民が通報できる仕組みはあるか。

4. 選挙事務と投開票の改善について

【 選挙管理委員長 】

(1) 令和8年9月13日に行われた3選挙について、それぞれの経費、町の実質負担額、従事職員数及び延べ勤務時間を伺う。同日実施の効果をどう検証するか。

(2) 町議会議員選挙の最終速報が翌午前2時45分となった要因を伺う。投票終了から確定までの工程別所要時間を把握し、次回の改善策を検討する考えはあるか。

(3) 町の選挙におけるタブレット型電子投票について、導入費、運用費、職員負担、投票のしやすさ及び安全性を調査する考えはあるか。

5. AIオンデマンド交通mobiの検証について

【 町長 】

(1) mobiの導入時に解決を目指した課題と主な対象者、導入の意思決定過程、比較した交通手段、利用者数・事業費・町負担額の当初見込み及び成果を判断する基準を伺う。

(2) 年代別の実利用者数と延べ利用回数、利用目的、予約できなかった割合、総事業費、運賃収入及び町の実質負担額を、当初の見込みと比較して示されたい。

(3) 当初の目的に近づけるため、運行時間・台数・料金・乗降場所及び既存交通との連携をどう見直すか。改善に要する費用と見込む効果を伺う。

(4) 令和9年度以降の継続、変更又は終了を、いつ、誰が、移動困難者への効果、公平性、1回当たり公費負担及び将来の町負担等のどの基準で判断するか。縮小・終了時の代替交通も伺う。

□ 大城重太 議員

1. 町道86号の歩道整備を問う

【 町長 】

（１）津嘉山十字路から南部農林高校に向かう町道86号で歩道が整備されていない部分がある。多くの高校生や住民が通勤通学で利用する通りであり、危険な状況が常態化している。隣接する豊見城市の市民からも陳情があり、早急な歩道整備を求める。

（２）町道86号周辺も津嘉山北土地区画整理事業の範囲に含まれているが、進捗を問う。

2. タブレットを使用した電子投票の導入を

【 町長 】

（１）昨年12月の定例会の一般質問で、今年9月の統一地方選に向けて、電子投票の導入を提案した。今回の選挙はトリプル選挙で開票作業に時間を要したと思うが、総括を問う。

（２）4年後も同じようなことになる可能性がある。本町の電子投票の検討と県の条例改正を要請してはどうか。

3. 小学校体育館の屋根の修繕を問う

【 教育長 】

（１）南風原小学校体育館と翔南小学校体育館の雨漏りに対する対応はどのように行っているか。修繕計画はあるか。

（２）根本的な解決策として、授業やスポーツ少年団の活動を止めずにできる、カバー工法で修繕するのが望ましいがどうか。

□ 島袋和美 議員

1. mobi利用について

【 町長 】

(1) R7年の議事録、議員質問でmobi利用者の9割が満足と回答と（アンケート）あるが満足回答の9割の年代を問う。

(2) 実証運行し、改良点と課題を問う。

(3) これまでの利用者数、年度別利用数を問う。

(4) 事業は継続予定か問う。

(5) 高齢者や障がい者、オンラインできない人にとって課題は何か問う。

2. 不登校について

【 町長・教育長 】

(1) 不登校とカウントされる日数が30日、10日以上休んでいる、隠れ不登校の数は把握しているか。

(2) 不登校数、コロナ禍前年から年度ごとに増減数を問う。

(3) 包括的性教育が小さい頃から実践されていくとどんな子も認められ居場所が“ある”実感や、自己肯定感も育つ、包括的性教育を教育現場で実践してはどうか。

3. 一般ゴミについて

【 町長 】

(1) これまでカゴで出していた資源ゴミが袋対応になった。業者がかかった理由は。

(2) ゴミが増えるがSDG sの観点からどう考えるか。

(3) ゴミの袋代住民負担になるどう考えるか。

(4) 出し方が大きく変わり混乱する、対策は。

4. 草刈りについて

【 町長 】

(1) 公園や川、道路沿い、通学路、草が伸び放題になっている。草刈りの優先順位は、定期で行っているのか。

(2) 1年に何回程度草刈りしているのか。

(3) 住民からの苦情はどれくらい寄せられているのか。

(4) すぐやる班で対応できているか。

1. 学校給食の無償化について

【 町長 】

（１）令和７年、３月議会において、前町長は「学校給食の無償化については、特に公約として挙げていない」と消極的な見解を述べたが、町長の見解を問う。

（２）学校給食の無償化は、政治的な公約の有無を超えて、国と地方自治体が一体となって進めるべき「子育て支援の土台」とも言うべき課題と考えるが、町長の見解を問う。

（３）「公約に挙げていない」という理由で据え置くことは、町内の子育て世帯に相対的な不利益を強いることになると思うが、町長の見解を問う。

（４）多くの自治体で無償化が進む中、南風原町だけが実施しない場合、近隣自治体との間で、子育て世帯の負担に格差が生じると考えるが、見解を問う。

（５）学校給食無償化は、物価高騰が続く中で生活困窮世帯だけでなく、すべての子育て世代に対する経済的支援であり、公約の有無にかかわらず、住民生活を守る自治体の当然の役割と考える。町長の見解を問う。

（６）南風原町は、人口増や子育て世代の転入など活気ある町である。近隣自治体が無償化となれば、町の優位性が低下する。無償化は町の活力を維持する「未来への先行投資」と考える。選挙の公約だけで判断すべきではないと思うが、町長の見解を問う。

(當眞嗣春議員 一般質問)

2. 学校教材費・学用品等の無償化について

【 町長 】

(1) 文科省「事務連絡」(7/17付「学校における補助教材及び学用品等に係る保護者等の負担軽減策の事例周知について」)の概要について、説明を求めます。

(2) 小中学生の補助機材を学校備品として、整理するよう検討を求めています、どのような検討をしているのか、具体的な品目や内容について伺う。

(3) 学校に備えるべき品目や数量を示した「教材整備指針」に基づく財政処置等の検討はどうか。

(4) 義務教育の無償化の観点から、制服代や修学旅行費などを公費負担として検討していただきたいがどうか、見解を伺う。

3. 体育館のクーラー設置について

【 町長 】

(1) 2025年の3月議会で「エアコン導入」について、令和8年以降に検討すると答弁しています。その後、どのような検討がなされたか伺います。

(2) 体育館のクーラー設置・環境整備について、どのような交付金があるのか報告いただきたい。

(3) 本町の体育館(4ヶ所)避難所の指定になっているか。避難所指定の体育館にエアコンを設置することは当然と考えるが、町長の見解はどうか伺う。

(4) 国の学校施設環境改善交付金について、その予算額、交付申請件数等伺う。

(5) 体育館のクーラー設置は、町民の命と健康、子どもたちの教育を受ける権利の問題。早急な検討・対策をお願いしたいと思います。答弁願います。

1. 新たな県政との連携と本町の重点要望について

【 町長 】

(1) 新知事の誕生を、本町の課題解決と将来のまちづくりを前に進める機会と捉え、県への要望と財源確保に向けた準備を進める観点から、以下について伺う。

①新知事による県政運営に対し、本町の振興及び町民生活の向上という観点から、町長は何を期待しているか。また、新知事と連携・協力し、町の重要課題に取り組む姿勢を伺う。

②令和9年度予算を見据え、本町として県へどのような重点要望を行う考えか。黄金森公園線整備・町道10号線整備・県道241号線整備・南部東道路の整備、下水道事業、河川氾濫対策、土地区画整理事業、学校給食費の無償化及び長寿命化計画に基づく公共施設の改修・更新などの様々な事業について、優先順位と必要な支援内容を整理し、早期に要望を取りまとめられないか。

③海邦国体では、南星中学校が競技会場となり、地域を挙げて大会を迎えた経緯がある。令和16年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を見据え、本町としてどのような準備を進めているか。特に、南星中学校体育館について、老朽化対策と競技・練習会場等としての活用可能性を踏まえ、大規模改修に向けた県との協議及び財源確保を進められないか。

2. 町内建設事業者の育成と公共工事の発注の改善について

【 町長 】

(1) 町内建設事業者の持続的な経営と人材の確保・育成を支え、公共工事の円滑な実施につなげる観点から、以下について伺う。

①町長は、商工会長在任時、建設部会等から公共工事の積算や入札・契約について、どのような声を聞き、課題として認識していたか。

②その認識を踏まえ、町長就任後、町内建設事業者の育成と積算・発注の改善に向け、どのような取組や見直しを行ってきたか。また、今後の方針を伺う。

③中東情勢等による資材価格や燃料費等の変動を踏まえ、積算額と実勢価格の整合性及び入札不調・不落の発生状況と要因を、どのように検証しているか。改善を進める上で課題はあるか。

(石垣大志議員 一般質問)

3. 宮平川の氾濫対策について

【 町長 】

(1) 宮平川流域の浸水被害の軽減を図る観点から、以下について伺う。

①継続的な河川浚渫に必要な財源を確保するため、緊急浚渫推進事業債の継続・延長を次年度の沖縄振興拡大会議にて要請してほしいがどうか。

②宮平地区の内水氾濫対策として計画している雨水排水ポンプの設置について、現在の進捗状況と今後の整備スケジュールを伺う。

4. ウガンヌ前公園の管理について

【 町長 】

(1) ウガンヌ前公園の管理について、実効性のある管理体制を整える観点から、以下について伺う。

①過去の一般質問において、町は自治会との協議や関係機関との連携を進める旨の答弁があった。その後、町としてどのように課題解決に取り組み、改善につなげてきたか伺う。

5. 青少年の補導状況及び非行防止対策について

【 町長 】

(1) 過去の一般質問では、本町の令和5年中の補導件数は122件、うち深夜徘徊は62件であり、集計の年齢は14歳から19歳との答弁があった。その後の実態把握と取組の進捗確認のため、以下について伺う。

①本町における令和5年以降の青少年の補導状況について、年ごとの総件数及び深夜徘徊・飲酒・喫煙等の行為別、年齢層別の内訳と、直近の傾向を伺う。あわせて、集計対象の年齢、町内での補導か町内在住者の補導かの区分及び実人数・延べ件数の別を伺う。また無免許運転による検挙件数も伺いたい。

②過去の一般質問以降、その後の具体的な取組と成果、現在の課題を伺う。

□ 玉城陽平 議員

1. 利用者視点による公園まちづくりを問う

【 町長 】

(1) 2025.6の一般質問で公園の管理運営に住民の声を反映する仕組みを提案した。進捗はどうか。

(2) 公園利用者が感じている不便や困りごと、改善要望を現在どのような方法で把握しているか。

(3) 大回廊公園において、スケボーパークの照明、バスケットの改修が行われたが、利用者から不満の声が届いている。どのような形で検討が行われ、どんな課題があるのか。

(4) 公園の施設を整備・改善した後に、実際に利用しやすくなったか、利用者や利用方法が変化したかを検証しているか。

(5) 2028年の長寿命化計画に関して、改修の見通しやスケジュールを提示しているか。また、見直しの過程で、利用者アンケート、ヒアリング、ワークショップ等の町民参加を行う考えはあるか。

(6) 公園の整備、維持管理、利用者の声の把握、改善、評価を一連のサイクルとして行う仕組みを構築できないか。

2. 市町村地域生活支援事業を問う

【 町長 】

(1) 日常生活用具給付事業における物価高を踏まえた額の見直しは怎么样了か。

(2) 移動支援事業、日中一時支援事業について、単価や負担の考え方（応能負担・応益負担）の見直しはどのように行われてきたか。

(3) 移動支援事業について、利用の上限は障害区分やアセスメントにより設定されるか。もしくは一律に定まるのか。

(4) 移動支援事業について、利用者負担を応能負担にできないか。所得に応じた支払いの上限設定、非課税世帯への減免・免除はあるか。設定すべきではないか。

(5) 移動支援事業について厚労省のR8.3月の「障害保健福祉関係主管課長会議資料」においても、各自治体が応能負担についての検討を求めたい旨の記述がある。また、本町の障がい者福祉計画のアンケートでも、「外出する時に困ること」について、最も多かったのは「外出にお金がかかる」22.2%となっている。負担のあり方についての町の見解を問う。

(玉城陽平議員 一般質問)

(6) 現在の応益負担の考えだと、生活保護を受けていない場合、かつ障害の程度が大きく利用ニーズの高い障がい者は相対的に負担が大きくなる。制度による支援が必要にも関わらず経済負担が大きく、十分な利用が難しいという声がある。負担のあり方を見直せないか。

(7) 移動支援事業のグループ支援型のサービス提供について、検討は行われたか。先述の厚労省資料において、こちらも活用が提案されている。

3. 行政における案件管理とサービス水準を問う

【 町長 】

(1) 住民からの相談、要望、問い合わせについて、受付から回答・対応完了まで現在どのように管理しているか。また、回答までの期間、途中経過の連絡、担当者間の引継ぎなど、住民対応について組織として統一した基準は定めているか。

(2) 一定期間対応が進んでいない案件を把握する仕組み、未処理案件や長期滞留案件を所属長が確認できる仕組み、回答期限を超過した案件について、所属長等に通知・共有する仕組みはあるか。

(3) 案件の経過やこれまでのやり取りを記録し、担当者以外でも確認できるようにしているか。担当者が異動した場合、対応中の案件を確実に引き継ぐ仕組みはあるか。

(4) 議会对応に関して、案件引き継ぎや進捗確認を部課長が実施する仕組みはあるか。

4. コミュニティ・スクールと学校運営協議会の充実を問う

【 教育長 】

(1) コミュニティ・スクールで何を目指しているのか。

(2) 目指すもの、そのための取り組みを広く関係者で共有していく必要があるが、コミュニティ・スクールに関して、教職員への研修や啓発活動はどのように行われてきたか。

(3) 地域団体、PTAなど、教職員以外への講演会や研修などの啓発活動はどのように行われてきたか。

(4) 町内の学校教育や地域づくりに関わる方々へ、広く学ぶ機会を作っていく必要があると考えるが、今後の取り組みはどのようなになっているか。

5. 特別支援教育を問う

【 教育長 】

(1) 各小中学校の特別支援学級数、在籍児童生徒数、通級による指導を受けている児童生徒数の状況はどうか。

(玉城陽平議員 一般質問)

(2) 特別支援教育を担当する体制はどのようなになっているか。支援員・コーディネーターの配置、担当教員の特別支援教育の免許保有の状況はどうか。

(3) 発達特性への理解や対応について教員ごとのばらつきが大きいという住民の声がある。経験年数の考慮、初任者への研修、教育ソフトの活用といった専門性の向上、校内委員会等の校内連携や特別支援学校のセンター的機能の活用など内外の連携体制はどのようなになっているか。

(4) 個別の教育支援計画・個別の指導計画について、どのくらい作成されているか。また、教育における個別の教育支援計画と福祉におけるサービス利用計画や事業所との個別支援計画の一体的な情報共有や連携はどのように取り組まれているか。

(5) 働き方改革の中で支援会議に割く時間が限られる現状があり、時間が足りないと保護者からの声がある。単純な時間の削減にならないようICT活用など工夫が求められるが、取り組んでいることはあるか。

(6) 幼保こから小学校、小学校から中学校、中学校から高校、それぞれの移行期の情報共有、連携はどのようなになっているか。

6. わかりやすい相談窓口を問う

【 町長 】

(1) 本町には福祉分野を中心に複数の相談窓口があるが、町民が「自分の困りごとはどこに相談すればよいのか」を分かりやすく把握できるよう、どのような案内を行っているか。

(2) 障がい者福祉における総合相談窓口である「基幹相談支援センター」、成年後見制度の「中核機関」など、制度上の名称だけでは町民に相談内容や役割が伝わりにくい窓口について、前者を「障がい者総合支援センター」、後者を「権利擁護支援推進センター」に変えるなど、相談できる内容が直感的に分かるようにできないか。

(3) 内部機構を変えずとも、対外的に看板となる名称を定めるだけでもわかりやすさは向上する。こども家庭センター内に「こどもの発達総合窓口」のような形でわかりやすい名称の窓口を設定できないか。

□ 西銘多紀子 議員

1. 兼本ハイツの町有地等の適正管理と有効活用を問う

【 町長 】

（１）緑化地域は町有地であるが、現在の財産上の位置付け、町と自治会との管理区分及び自治会が管理を担うこととなった経緯を問う。また、ガジュマル等が大木化し、根が周辺住宅等へ影響を及ぼしている状況について、町として現地を確認し、安全対策及び今後の管理のあり方を自治会と協議する考えはないか。

（２）町から兼本ハイツ自治会へ無償譲渡された旧浄化槽跡地について、譲渡に至った経緯及び条件、現在の土地利用状況並びに浄化槽の撤去状況をどのように把握しているか。また、記録と現況に相違がないかを含め改めて現地確認を行い、今後の土地の有効活用について自治会と協議する考えはないか。

2. 本部公園の安全管理について問う

【 町長 】

（１）過去５年間に、本部公園において町が把握している事故やけが、遊具等の不具合、利用者から寄せられた安全面に関する苦情・要望は何件あり、どのような内容であったか。また、それらをどのように記録し、改善につなげているか。

（２）現在、公園内には夜間に点灯していない街灯があり、スポーツ活動終了後の児童・生徒が暗い中を移動している。遊具、園路、街灯、駐車場、出入口等を含め、本部公園全体の安全点検を実施し、必要な修繕や夜間の安全対策を行う考えはないか。

3. 第二団地から国道329号間の右折帯整備の早期着工を

【 町長 】

（１）第二団地から国道329号間の右折帯整備について、現在までの進捗状況と、工事着手に時間を要している理由を問う。

（２）今後の具体的なスケジュールと工事着手及び完成の見通しを問う。また、地域住民に対して進捗状況や工事予定を周知する考えはないか。

(西銘多紀子議員 一般質問)

4. 畜産農家の支援体制について問う

【 町長 】

(1) 前年度実施された粗飼料購入支援について、今年度当初予算には計上されていない。畜産農家から支援継続を求める要望があるが、補正予算等による予算措置を行う考えはないか。

(2) 飼料価格等の高騰や飼養頭数の減少など、畜産農家を取り巻く厳しい経営環境が続いている。本町の畜産業を維持していくため、粗飼料購入支援に加え、農家の経営継続に向けた新たな支援策を検討する考えはないか。

5. 生活道路の安全確保に向けた町の取組を問う

【 町長 】

(1) 令和8年9月1日から生活道路における自動車の法定速度が30キロに引き下げられた。本町では制度改正を町民にどのように周知・啓発し、交通安全につなげていく考えか。

(2) 通学路を含む生活道路について、交通安全上の課題をどのように把握しているか。また、警察や関係機関とどのように連携し、安全対策を進める考えか。

6. 不登校児童生徒の多様な学びと居場所の保障を問う

【 町長 】

(1) 本町の不登校児童生徒が、学校内外のどのような学びや居場所につながっているのか。また、どこにもつながっていない児童生徒を含め、本人や保護者が抱える困りごとや必要としている支援をどのように把握し、支援につなげているか。

(2) 不登校児童生徒一人ひとりの状況や意思を尊重し、学校外を含めた多様な学びや居場所を保障するため、関係機関や民間・地域の活動との連携を含め、今後どのように支援を充実していく考えか。